

平成30年 9月 13日

平成30年度 海外インターンシップ報告書

長野大学 企業情報学部 企業情報学科 3年

実習期間	平成30年 9月2日(土) ~ 9月8日(土) 7日間
実習企業	台湾野村股份有限公司
実習地	中華民国台湾省台中市 43541 梧棲區中港加工區緯四路2號

1. 実習目的

Chapter1 purpose

出身である諏訪圏の海外製造業企業での就労体験を通じて、将来的にグローバルな視野と地元愛を持って長野県経済の発展に貢献するため。また、製造業の細かい工程を現地の方と協働して体験することで、製造業についての知識をつけるため。同時に、台湾の方との「異文化コミュニケーション」を積極的に行うことで異文化コミュニケーションについても考えを深め、社会人として様々な仲間と力を合わせて仕事を進めていく「働くビジョン」を大学生の時点でイメージしておくため。

2. 実習先概要

Chapter2 summary of company

所在地

本社：中華民国台湾省台中市 43541 梧棲區中港加工區緯四路2號

TEL：+886-4-2659-5007 FAX：+886-4-2659-5006

URL：<http://www.nomura.com.tw>

創立

1987年（昭和62年〔民国76年〕）2月

資本金

2億3,800万円（NT\$46,260,000.元）

従業員数

75名

董事長 野村 稔

業務内容

液晶関連設備製造、半導体関連設備製造、各種専用機製造、搬送設備製造、精密部品加工、精密板金部品加工、据付及びメンテナンス

3. 実習日程

Chapter3 schedule

9月2日(土)~9月8日(土)

4. 実習内容

Chapter4 laboratory

営業系業務

品質系業務

高雄日本人会・日本交流協会訪問

生産管理業務

製造系業務

5. 実習の成果（成長した事）

Chapter5 result

大きく分けて2つの成長があった。まず、台湾に行くまでは漠然としたイメージとして「異文化コミュニケーション」について捉えていたと思う。言語、文化、宗教観、歴史、そうしたような幾層にも重なる価値観の要素を分解し、それらを鳥瞰することにより、誤解を生まない相互理解的なコミュニケーションができることを五感で感じた。そうした教訓の中で、具体的には台湾の価値観、台湾の方から見た日本人像、日本人と台湾人の違い、また、違いの中でどう寄り添っていくかの現地の工夫を知ることが出来たことが大きかったと思う。

次に、社会人として「働くビジョン」を明確に持てたことが今回大きな学びになったと思う。具体的には、多様な部署や多彩な仲間と肩を組んで仕事を進めていくための調整力や、的確に現状を把握し責任をもって仕事を進めていく実行力を学ばせていただいた。ここで身に着けた力を、こんごも成長させ、就職した時に発揮していけたらと思う。

6. 今後の課題

Chapter6 problem

今回の海外インターンを通して「語学力」の乏しさを改めて痛感した。中国語能力の基準は求められていなかったため、中国語の勉強をあまりせずに海外インターンに臨んでいたが、やはりところどころで中国語が必要になる場面は多く、翻訳してくれる方がいるとはいえ、朗らかに直接コミュニケーションをとるためには、現地の言葉をもっと学ぶべきだったと後悔した。大学卒業まで、英語を含め、各国の言語を積極的に学ぶ姿勢を大事にしたいと思う。

7. 海外インターンシップに行こうか迷っている学生に一言

Chapter7 Advice

「ちょっと海外インターン気になるな…」という人でも、現地のことを調べた上で、是非積極的に参加してほしいと思います。まだ海外に行ったことない方も、海外インターンを通して海外との距離感がグッと近くなり、海外についてのニュースもより親近感を持って見られるようになると思います。働き方についても意識が変わりますし、特に「海外で働く」もしくは「外国人と働く」ということについては多くの学びを得ることが出来ます。予想外の自分に出会うことが出来る機会にもなります。是非、日本から飛び出して将来の自分の大きな力になる海外インターンに参加してみたいはかがでしょうか。

8. 謝辞

Chapter8 Address of gratitude

今回、インターン先の台湾野村股份有限公司様を始め、茅野市の本社訪問からサポートをして下さった海外統括部の小林様、慣れない書類事務関係の指導を賜りました長野大学キャリアサポート課の茨木さん、その他、現地の移動や宿泊でお世話になった皆さんに感謝の意を込めて、謝辞を締めくくろうと思います。本当にありがとうございました。



1. 事業所にて営業課長の武田さんと



2. 工場内にて製造系業務研修に臨む様子



3. 高雄にて日本台湾交流協会 事務所の方々と